



2019年6月3日

各 位

三重県保険医協会

運動の取り組みについて

4月25日、保団連中央要請行動が開催された。三重協会から鶴飼・梅村・横山各副会長が参加した。

杉山正隆氏（保団連理事）の司会で始まった集会は初めに「ストップ！患者負担増」等の緊急要望について現場の医師・歯科医師の視点から”住江憲勇氏（保団連会長）、大藪憲治氏（保団連歯科理事）の挨拶があり、引き続き、県選出および比例東海選出の各議員（秘書対応を含む）に要請書・関連資料①患者・国民、医療機関の負担増は必至で消費税10%増税は中止することを求めます。②さらなる患者負担増をやめ、窓口負担の軽減を求めます。さらに歯科から③歯科用貴金属の価格高騰に対する緊急対応を求めます。④歯科医療費の総枠拡大へ向けて「保険でより良い歯科医療を求める」6・6 歯科総決起集会ご臨席・ご挨拶のお願い。を持参し要請した。本村伸子議員（共・衆・比例東海）には斎藤みち子氏（保団連副会長、女性部部長、愛知協会）も同席し、要請項目以外にも女性開業医師・歯科医師問題からポスドクの問題まで幅広く懇談をした。昼からは「みんなに安心の医療を実現 社会保障充実の政治へ！」に参加、途切れることなく国会議員の先生方より激励を受けた。最後のフロア発言では三重協会から歯科用貴金属の価格高騰に対する緊急対応、歯科医療機関の経営困難の現状、初・再診料を含む歯科点数の医科点数並みへの引き上げの要求、また、それに対して三重協会では医師の先生方の理解、応援があるとの発言をした。森元主税氏（保団連副会長）の閉会挨拶のあと、夕方からの理事会に間に合うように新幹線に飛び乗った。

（三重県保険医協会副会長・梅村忠司）

以 上